

入学生代表挨拶

厳しい寒さも和らぎ、やわらかな春風に心華やぐ季節となりました。本日は、私たちのために、このように盛大な入学式を挙行していただきましたこと、大学院新入生を代表し、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

私は昨年度までの四年間、医療工学の分野において専門知識と技術を修得し、学問の研鑽に励んで参りました。また、講義や研究活動を通じて一つの課題に対し多角的な視点を持ち、深く考察することの重要性を学びました。そして今、さらなる知識の探求と高度な研究を遂行するために、本大学院への進学を決意いたしました。

さて、現代社会には、解決すべき多くの課題が存在しています。私がこれまでに学んできた医療の分野においても、少子高齢化に伴う医療需要の増加、医療費の高騰、情報共有とデジタル化の遅れなど、多くの課題が山積しています。これらの課題に対し、医療と工学の視点から科学的に考察し、より良い未来の創造に寄与するため、研究に真摯に取り組み、知識と技術を磨き、社会に貢献できる人材となるべく精進してまいります。

結びに、本学の「建学の精神」を胸に刻み、学識を深めていく私たちに、諸先生方並びに本学関係者の皆様からの温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新入生一同それぞれが、志す未来へ向かい、一歩ずつ着実に歩むことをここに誓い、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

令和七年四月二日

大学院生代表

工学研究科 修士課程

電子情報学専攻

白濱 武琉